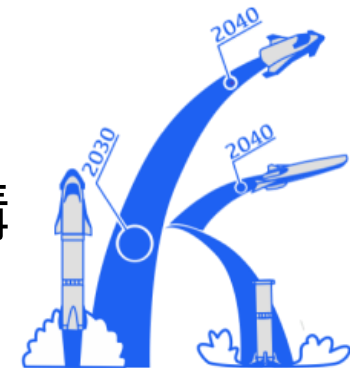


革新的将来宇宙輸送システム研究開発プログラム

第4回研究提案募集(RFP)説明会

2025年8月28日
国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構



■全体説明での質疑・応答について

- JAXA内部の記録のため録音させていただきます。
- 質疑・応答の内容については、質問者を特定できないようにして、後日HPに掲載させていただきます。
- 質疑・応答の時間のほか、随時、【チャット】でも質問をお受けします。チャットにいただいた質問については、事務局から適宜ご返信します。

■質問・相談会について

- メインルームのほかに4つのブレイクアウトルームをご用意しています。
- いずれのルームにもご自由に、途中からでも参加いただけます。
- 質問・相談会はオープンな場となりますので、クローズドの質問・相談は、HPの「お問い合わせフォーム」をご利用ください。

■本資料は、下記よりダウンロードできます。

<https://www.kenkai.jaxa.jp/research/kakushinyusou/request04/rfp.html>

アジェンダ

2025年8月28日

10:00～10:15 全体説明

- 革新的将来宇宙輸送システム研究開発プログラムの目標と共創活動
- 共同研究と募集区分
- 募集課題
- 応募方法・スケジュール
- 質疑・応答

10:15～11:30 質問・相談会

- 個別の研究課題について
- 契約・法務について

革新的将来宇宙輸送システム研究開発プログラムの目標と共創活動

- ✓ JAXA研究開発部門第四研究ユニットでは、宇宙基本計画や宇宙技術戦略等にも示される政策に沿って、「革新的将来宇宙輸送システム研究開発プログラム」(以下、「本プログラム」といいます)を推進しています。
- ✓ 本プログラムでは、宇宙開発利用の将来像に対応する次期基幹ロケットの開発に向けて、次世代の宇宙輸送技術の研究開発に取り組んでいます。また、高速二地点間輸送や宇宙旅行のような、中長期的に大きな市場が期待される分野についても、取組みを主導する民間の宇宙輸送事業者の技術ニーズの把握に努め、次期基幹ロケットの開発に向けた取組みと連携した形で、必要な要素技術の開発を進めています。
- ✓ この活動の一環として、2021年より産学官のオープンイノベーション共創体制を構築しています。非宇宙分野からも広く技術アイデアを募り、次期基幹ロケットの開発に向けた革新的な技術を獲得を目指し、また、民間主導の宇宙輸送システムへの適用や地上産業技術の発展への貢献を目指しています。
- ✓ 共創活動では、過去3回のRFPで計48件の研究提案を採択し、共同研究を実施しています。

(参考)次世代の宇宙輸送システムに向けたJAXAの基盤技術研究

基盤技術研究の全体像



- 宇宙基本計画や技術戦略に示される将来の輸送ニーズの多様化等に応えるためには、以下のような新しい技術(宇宙輸送システムの運用の観点で整理した例)が必要である。
- 新技術は将来考えられる**輸送システム(使捨て型・再使用型・有人輸送)**に**広く有効**であることから、主にこれらの基盤的かつ技術難度の高い技術に関して研究に取り組み、技術成熟度を向上させることによって開発リスクを軽減し、将来の**国内宇宙輸送システム開発における新技術導入の促進**をはかる。

次世代宇宙輸送システム技術

国際的な宇宙輸送市場の動向に対応するためのシステム等に関する基盤技術研究

- 衛星搭載方式の多様化に係る技術
- 機体を再使用化するロケットのシステム(高信頼性含む)に関する研究
- メタン推進剤を採用する機体の保安距離(爆発威力)の研究
- 有人宇宙輸送システムの要素技術に関する検討 等

技術活用可能なシステム
使捨て型、再使用型、有人

高性能・軽量化・低コスト化技術

国際的なロケット推進系の高性能化、帰還用燃料や着陸脚等の追加装備による構造効率低下を抑制するための基盤技術研究

- 大型低コストタンク技術(複合素材成型技術、3D積層技術)
- 大型大推力エンジン技術(メタンや水素)
- ロケット/ジェット複合エンジン技術 等

技術活用可能なシステム
使捨て型、再使用型、有人

高高度からの帰還技術

国内事例として少ない極超音速での帰還飛行、回収船等への定点着陸の実現に向けた基盤技術研究

- 帰還時誘導飛行制御技術(アビオニクス技術等)
- 着陸機構や洋上回収技術
- 再使用ロケット自律飛行安全技術
- 極超音速(再突入)空力特性の予測・検証技術 等

技術活用可能なシステム
再使用型、有人

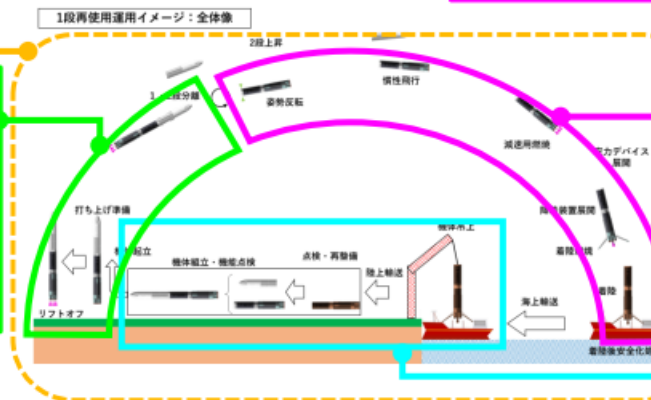
技術活用可能なシステム
使捨て型、再使用型

再整備効率化技術

機体回収後の再整備期間及び費用を低減するための地上系の基盤技術研究

- 機体点検・整備技術
- ヘルスモニタ技術^注 等

(注)機体の健全性の確認や故障の予兆の検知等に関する技術



1段機体を再使用する場合の運用の例と主な基盤技術研究の関連

(参考)民間事業者等の提案に基づく官民共同での研究開発

□ 2021年度以降、3回のRFI/RFPを行って計48件の研究テーマを採択し、非宇宙産業を含めた民間企業等との共同研究を実施しています。

□ 今後の基幹ロケットと民間主導の輸送システムの両方に裨益する技術を生み出すなど、我が国の宇宙活動を支える産業・人材基盤の底上げを図っています。

No.	区分	研究テーマ	企業・機関名 (★は提案者)
1	アイデア	AM熱交換器の構造・流体・プロセス最適化の研究	(株)NTTデータザムテクノロジーズ★/大阪大学/中央エンジニアリング
2	アイデア	Additive Manufacturingを活用した小型・軽量熱交換器の提案	三菱重工業(株)★
3	アイデア	作業効率化の改善に資するXR技術の機能研究	キヤノンITソリューションズ(株)★/立命館大学
4	アイデア	シルセスキオキサン樹脂をマトリックスとする400℃連続使用可能CFRPの開発	金沢工業大学★
5	アイデア	低コスト繊維強化セラミックス材の中温度域での宇宙輸送系機体構造への適用性検討	(株)湘南先端材料研究所★
6	アイデア	溶融合浸法と膜沸騰法による低コストセラミック繊維/シリサイド複合材料の開発	東京農工大学★/(株)IHIエアロスペース
7	アイデア	極低温用CFRP配管の研究	(株)テックラボ★
8	アイデア	ATL成形による極低温対応配管製造のための炭素繊維強化液晶ポリマーの開発および金属製継手最適設計シミュレーション技術の開発	丸八(株)★/東京大学
9	アイデア	液体燃料挙動を簡略な操作で予測可能なシミュレーションツール開発	アドバンスソフト(株)★
10	アイデア	ロケットエンジン用小型低コスト電動ポンプの研究	千葉工業大学★/(株)黒崎製作所/宇宙興機(株)
11	アイデア	宇宙民生用情報通信エネルギーエレクトロニクスによるワイヤレス通信センサ用フェーズドアレーアンテナ	スペース&モバイルワイヤレステクノロジ(株)★/鹿児島大学/(株)エフ・アイ・テック
12	アイデア	振動に強く小型軽量(高エネルギー効率)な低コスト電池の研究	名古屋大学★
13	アイデア	宇宙適用可能な低コストソフトウェア無線機の研究	インターステラテクノロジズ(株)★/三菱プレシジョン(株)
14	アイデア	トランシーバIC及び書き換え可能FPGAを活用したロケット搭載/衛星搭載ソフトウェア無線機の開発	NECスペーステクノロジ(株)★
15	アイデア	ガス圧利用による非火工品方式の結合/分離機構の研究	川崎重工業(株)★
16	チャレンジ	FRPヒンジ技術を使った着陸脚機構の研究	(株)ジーエイチクラフト★/帝人(株)
17	チャレンジ	テレスコピック式伸張ロッドの着陸脚への適用研究	日本飛行機(株)★
18	アイデア	再使用輸送機の構造健全性評価のための欠陥検出技術の研究	三菱重工業(株)★
19	チャレンジ	再使用輸送機の運用整備計画構築手法に関する研究	三菱重工業(株)★
20	チャレンジ	航空機の整備計画策定手法の再使用ロケット整備への応用	ANAホールディングス(株)★
21	チャレンジ	洋上回収技術研究	三菱重工業(株)★/日本郵船(株)

22	アイデア	CFRP大型極低温推進薬タンク製造技術の研究	東京大学★/丸八(株)/津田駒工業(株)
23	アイデア	炭素繊維強化熱可塑性樹脂を用いたオートテープブレースメントによる液体酸素に適合する複合材製酸素タンクの試作	(株)SPACE WALKER★/(株)KADO/(株)富士インダストリーズ/東京理科大学
24	課題解決	熱可塑性CFRPによる先端技術を用いた低コスト極低温推進薬タンクの研究	三菱重工業(株)★
25	アイデア	電子線硬化モノマーとのハイブリッド化による推進薬用炭素繊維強化スーパーエンブラ製圧力容器の製造技術	金沢工業大学★/岡山県立大学/(株)KADO/(株)UCHIDA/物質・材料研究機構(NIMS)
26	課題解決	金属AMによる大型極低温推進薬タンク/一般構造の製造技術研究	清水建設(株)★
27	課題解決	短絡移行方式MIG溶接を用いた軽量かつ低コストな大型極低温推進薬タンクの製造技術研究	三菱重工業(株)★
28	アイデア	拡張可能なツールチェンジ複合材料3Dプリンター	東京理科大学★/早稲田大学
29	アイデア	"あやとり"成形技術によるCFRPラティス構造の低コスト・大型構造製造技術の開発	(株)ジーエイチクラフト★/帝人(株)
30	アイデア	短絡移行方式MIG溶接を用いたWAAMプロセスの造形シミュレーション技術の開発	大阪大学★/三菱重工業(株)
31	アイデア	マグネシウム合金ワイヤーを材料に用いたレーザーワイヤーDED方式AM造形技術の研究	三菱電機(株)★/熊本大学/東邦金属(株)
32	アイデア	WAAM向け高強度アルミニウム合金ワイヤーの開発	(株)UACJ★/三菱重工業(株)
33	アイデア	高比剛性と振動透過抑制性能を両立した弾性波メタマテリアルの設計と3Dプリンティング	(株)3D Printing Corporation★/愛媛大学
34	チャレンジ	超音波モータを用いた極低温バルブの研究	三菱重工業(株)★/(株)Piezo Sonic
35	アイデア	蛇腹構造を有する極低温用フレキシブルCFRP配管の研究	(株)テックラボ★
36	アイデア	エッジコンピューティング技術を活用した軽量型オンボード制御ソフトウェア技術の研究	ラトナ(株)★
37	チャレンジ	水平着陸式宇宙輸送システム用の軽量化降着装置の設計・製造の研究	将来宇宙輸送システム(株)★
38	チャレンジ	大離陸重量に耐える革新的降着システムのコンセプト検討	PDエアロスペース(株)★/原田車両設計(株)
39	チャレンジ	軽量化複合材製降着装置に関する研究	(株)SPACE WALKER★/東レ・カーボンマジック(株)/東京理科大学
40	アイデア	超音波非破壊検査を用いたCFRP機体の効率的な点検・整備に関する研究	コニカミノルタ(株)★
41	チャレンジ	受動変化する基準圧との差圧測定を利用した高精度・耐故障フラッシュエアデータセンシングシステム	東京理科大学★/(株)SPACE WALKER
42	チャレンジ	水平着陸式宇宙輸送システムの軽量機体の設計・製造の研究	将来宇宙輸送システム(株)★/東京理科大学
43	アイデア	低コストかつ軽量化推進薬対応モータ駆動バルブの研究	伸和コントロールズ(株)★
44	チャレンジ	TVC機器のコスト低減に向けた品質保証プロセスの改善研究	シンフォニアテクノロジ(株)★/インターステラテクノロジズ(株)
45	アイデア	メタン/酸素を用いた燃焼器の繰り返し点火に用いるレーザ点火技術の研究	(株)IHIエアロスペース★/(株)IHI
46	アイデア	メタン/酸素統合推進系の実現に向けたレーザー生成プラズマ着火スラスト	名古屋大学★/東京理科大学/(株)SPACE WALKER/(株)IHI
47	アイデア	耐熱合金(ニオブ系合金)を用いた積層造形および耐酸化コーティング技術	(株)ディ・ビー・シー・システム研究所★
48	アイデア	ロケット及び地上設備に向けた極低温流体対応液位計測システム技術の研究	三菱重工業(株)★

共同研究と募集区分(1/2)

本プログラムの共創体制では、次期基幹ロケットだけでなく、民間主導による新たな宇宙輸送システムや地上産業との技術の共通化を考慮し、従来の宇宙産業に限らず非宇宙産業からも広く技術アイデア等を募り、企業・研究機関・大学が目指す技術と JAXA が目指す技術の方向性をすり合わせて **共同研究**を実施し、技術成熟度の向上と新しい価値の創出を共に目指しています。

JAXAでは、「**共同研究**」を次の通り定義しています。

「JAXAが他の者と試験、研究若しくは開発を分担し、技術及び知識を交換し、並びにその費用を分担して共同で行う試験研究等」

「分担」、「共同」という点で委託研究とは異なりますので、ご注意ください。

(参考)JAXAの「委託契約」

「JAXAの行う事務の代行、調査・研究等、契約相手方に法律行為又は事務処理その他の行為を為すことを委託し、機構がその実施に要した経費を支払うことを約する契約」

共同研究と募集区分(2/2)

共同研究の区分として「フィジビリティ研究」と「課題解決研究」の2つを設定しています。第1回～第3回のRFPでは、チャレンジ型／アイデア型／課題解決型の3つの募集区分を設けていましたが、よりスピード感をもって研究を推進できるように、第4回RFPより変更しています。

変更前	変更後
1. チャレンジ型 研究課題に対して、挑戦的な技術の適用性を深める研究 研究期間：最長半年（6ヶ月）以内 研究費：総額300万円以下 2. アイデア型 研究課題に対して、革新的な技術を活用して課題解決の成立性および市場への活用に向けたアイデア確認を目的とした研究 研究期間：最長1年（12ヶ月）以内 研究費：総額500万円以下 3. 課題解決型 具体的な技術課題解決を目的にする研究。研究終了後2年を目途に事業化を目指す。 研究期間：最長3年（36ヶ月）以内 研究費：総額3億円以下	1. フィジビリティ研究 課題解決や事業化を目指す革新的技術の実現性検討を行う 研究期間：原則1年（12ヶ月）以内 ただし研究の進捗に応じ12ヶ月以内で延長可 研究費：総額500万円以下（延長期間を含む） 2. 課題解決研究(今回、募集はありません) 課題解決や事業化を目指す革新的技術で、実現性の見通しがあるものについて、模擬環境での実現性確認を行う 研究期間：原則2年（24ヶ月）以内 ただし研究の進捗に応じ12ヶ月以内で延長可 研究費：総額1億円以下（延長期間を含む）

【ステップアップ制度】
「フィジビリティ研究」で優れた成果が得られ、事業化の見通しがあると評価された場合は、課題解決研究の提案書を提出していただき、審査プロセスを経て「課題解決研究」へ移行(ステップアップ)することができます。
なお、研究課題の技術の成熟度等により、フィジビリティ研究を経ずに 課題解決研究を開始する場合があります。

募集課題(1/2)

今回も、従来同様、RFPの実施に先立ち、2025年4月25日から6月10日にかけて、RFI(情報提供要請)を実施し、民間企業・研究機関・大学の方々から、宇宙輸送システムを革新する可能性のある技術やアイデアをお寄せいただきました。今回のRFIから、新たに技術テーマの大分類に「有人輸送技術」を加えております。

宇宙輸送の技術ロードマップに基づき、RFIで提供いただいた情報を参考に、JAXAの研究リソースも考慮しつつ優先順位をつけて、今回のRFPでは6件の研究課題を設定しました。

No.	募集区分	研究課題件名
01	フィジビリティ研究	中温域と高温域で使用可能な軽量・低コスト断熱材の研究
02	フィジビリティ研究	耐雷CFRP技術のロケット適用に関する研究
03	フィジビリティ研究	メタン爆発威力評価に向けた数値解析技術の研究
04	フィジビリティ研究	エアブリージングエンジン構成要素の高性能化に関する研究
05	フィジビリティ研究	再突入後帰還技術(緩降下・着水/着陸・回収)の研究
06	フィジビリティ研究	有人帰還を想定した打上アボート後の運用シナリオと航法誘導制御の研究

注)研究課題の設定にあたっては宇宙戦略基金の技術開発テーマと重複することがないように考慮しています。

各研究課題の詳細については、ホームページの「募集課題一覧」をご覧ください。

https://www.kenkai.jaxa.jp/research/kakushinyusou/request04/data/rfp_kadai.pdf

募集課題(2/2)

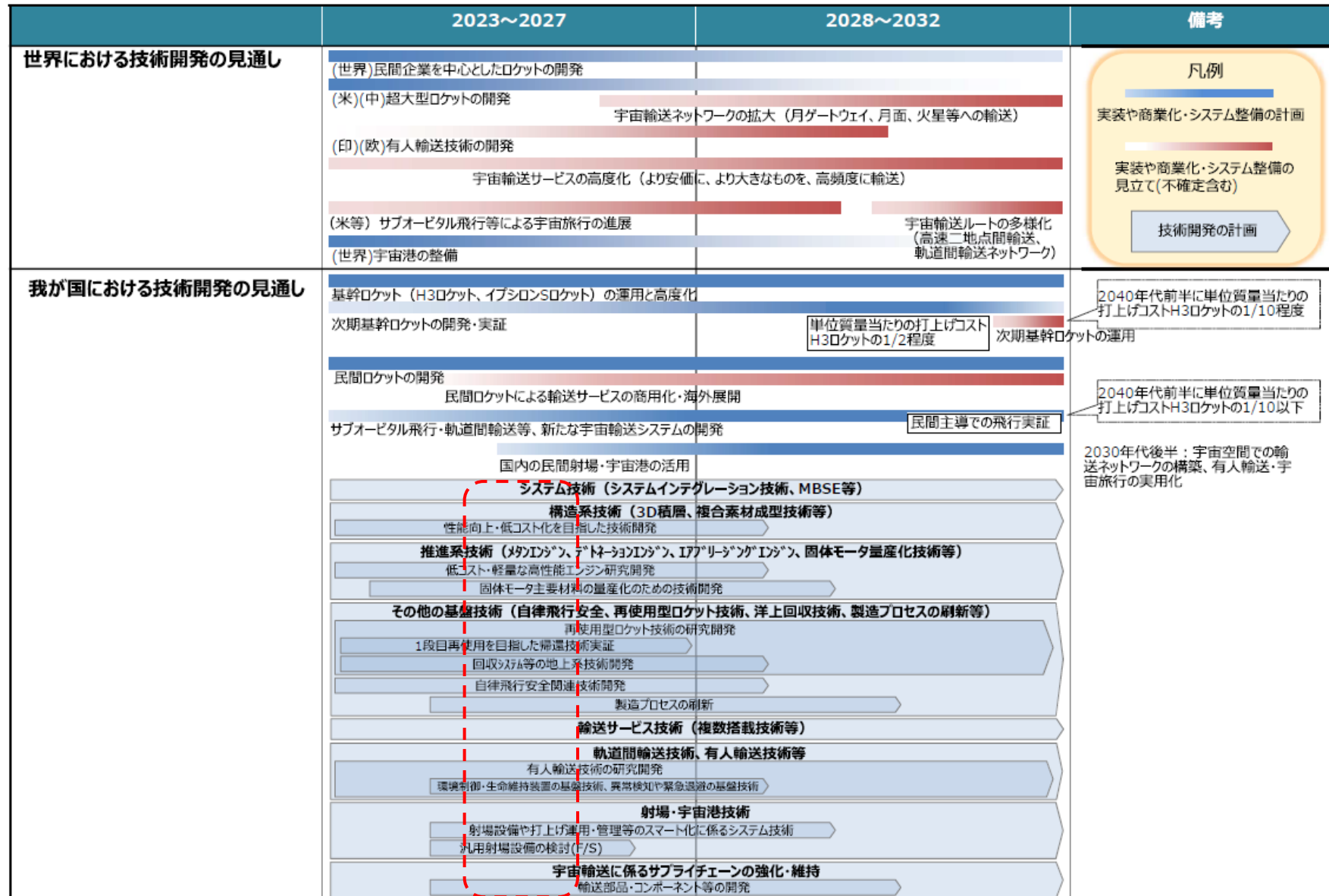
研究課題共通事項

1. 1つの研究課題に対して複数の研究提案を採択することがあります。また、採択がないこともあります。
2. 課題解決に向けて部分的に対応できる提案も可能です。また、1つの研究課題に複数の構成要素が示されている場合、特に記載されている場合を除き、そのうちいずれかの要素を満たす提案でも構いません。ただし、全体的に対応できるもののほうが評価上は有利になります。
3. 研究に際し、必要に応じてJAXAの研究設備を利用することができます。
4. 採択内定後、研究提案の内容に応じて、研究費額を上限の範囲内で調整することがあります。
5. 採択内定後、JAXAと研究体制を構築していただきます。このとき、JAXAより体制を提案することがあります。
6. 研究終了時には研究成果の評価を行います。課題解決研究の場合は、研究終了時の成果報告とは別に、研究実施計画で定めた研究ステージ毎に、研究の進捗や成果に関する評価を行うことがあります。評価の結果、JAXAが研究実施計画の見直し中止、延長等を判断することがあります。

(参考)宇宙輸送の技術ロードマップにおける現在位置

宇宙輸送の技術ロードマップ

出典：内閣府「宇宙技術戦略(令和6年度改訂)」(令和7年3月25日)
(https://www8.cao.go.jp/space/gijutu/honbun_20250325.pdf)



応募方法・スケジュール(1/3)

応募方法については、以下のホームページに詳しくご案内しています。

<https://www.kenkai.jaxa.jp/research/kakushinyusou/request04/rfp.html>

第4回研究提案募集（RFP）	
募集内容・期間	第4回の研究提案募集（RFP）の募集期間を以下の通り設定いたします。 募集期間：2025年8月12日(火)～2025年9月30日(火) 正午 募集要項  募集課題一覧 
応募書類	様式1_研究提案書  様式2_特許論文リスト 
契約関係書類	※原文での契約締結となります。応募前に必ずご確認ください 共同研究契約書雛型（独占）  共同研究契約書雛型（非独占）  委託契約及び支出を伴う共同研究契約に係る事務処理について 
応募方法	応募書類一式は以下の方法でご提出ください。 手順の詳細は、こちらの応募手引き  をご覧ください。 ■Step1：こちらからエントリー  （Microsoft Forms） ↓ ■Step2：応募書類の提出（メール） ↓ ■Step3：提出受付メールを受領したら提出完了です。 ●情報の取扱いについて： 1. ご提出いただいた応募書類は、第4回研究提案募集にのみ使用し、研究提案募集関係者(外部員含む/守秘義務あり)のみに開示致します。提案者の許可なく第三者へ開示することはありません。 2. 上記の通り秘密情報として取り扱いに留意し管理いたしますが、ご希望の場合には約款形式の秘密保持契約を締結いたしますので、「様式1_「研究提案書」の「秘密保持約款の締結」の欄において、「□要」にチェックを入れてください。 秘密保持約款 

共同研究契約書雛型は、**応募前に所属組織（法務担当を含む）での確認を済ませ**、結果通知後の問合せに時間がかからないように、ご協力ください。契約書にご不明な点等ある場合には、本RFP募集期間中にお問合せフォームよりご連絡ください。

<https://forms.office.com/r/D27pp1di5U>

応募方法・スケジュール(2/3)

研究提案書の作成

- 1.(4)「共同研究契約書雛型」への同意の確認

共同研究契約書の条文の変更はできませんので、募集要項と合わせて公開している共同研究契約書雛型を事前にご確認いただき、所属組織(法務担当含む)の了承を得て、ご応募ください。

- 2.(4)課題解決に向けた目標設定と研究遂行能力／2.(7)提案のアピールポイント・技術的革新性
募集要項の資料2(評価の観点)をよく読み、具体的な目標、客観的に評価された研究遂行能力、ベンチマーク等に基づく革新性などをアピールしてください。研究遂行能力に関しては、宇宙分野以外での実績も評価します。

- 2.(5)⑤研究費額

募集要項の資料1(研究課題)に表示している金額を上限として、JAXAは共同研究の実施に必要な費用を提供します。利益は認められません。一般管理費は、①JAXAレートがある場合はJAXAレート、②相手方の内規において定める率、③相手方の直近の財務諸表から算定した率、の優先順位とし、③の場合、上限は30%とします。また、消費税10%を含めてください。

また、提案者が自己投資する見込みの資金について、参考情報として、募集要項の資料5(自己投資に換算する費目の例)を参考に記載してください。なお、JAXAは額の精査等を行うことはなく、金額の多寡は審査に直接影響いたしません。

(参考)評価の観点

A フィジビリティ研究

① 公募時の設定主旨との整合性
課題解決や事業化を目指す革新的技術の実現性検討の提案であること
② 目標設定の妥当性・実現性
- 課題解決の実現性の確認に向けた研究目標が具体的かつ明確に示されていること - 課題解決によって、民間の宇宙輸送システムへの適用や地上産業技術の発展にも貢献する可能性が示されていること - 応募者の研究遂行能力を過去の関連する研究成果等から示されていること
③ 研究計画・体制の妥当性・成立性
- 目標の達成に向けたプロセス及び作業が的確にブレイクダウンされていること - 目標の達成に適切なスケジュールが設定されていること - 目標の達成に必要な体制が設定されていること - JAXA の技術知見・ノウハウや研究設備等を活用する相乗効果が示されていること - 目標の達成に必要な資金計画が設定されていること 1 年程度で課題解決研究等にステップアップ可能かどうか判断できる計画であること
④ 技術的革新性
- 宇宙輸送システムの設計・製造・運用等を抜本的に変える取り組みであること - 技術の独創性・競争優位性がベンチマーク等に基づき客観的に示されていること - 共同研究成果の将来への発展性が示されていること - 共同研究成果が他の研究に活用される可能性があること - 技術による競争優位の持続性（コモディティ化するのに時間がかかる）が期待できること

B 課題解決研究（今回、募集はありません）

① 公募時の設定主旨との整合性
課題解決や事業化を目指す革新的技術で、実現の見通しがあるものについて、模擬環境での実現性確認を行う提案であること
② 目標設定の妥当性・実現性
- 課題解決に向けた研究目標が具体的かつ明確に示されていること （既存の技術と課題解決に向けた技術的の差分が分析され、個々の課題に対する実現手段が示され、目標の達成に繋がることが明確なこと） - 課題解決によって民間の宇宙輸送システムへの適用や地上産業技術の発展にも貢献することが客観的に示されていること - 応募者の研究遂行能力を過去の関連する研究成果等から示されていること - 提案する研究課題に対し、過去の技術的データ及び成果が示されていること
③ 研究計画・体制の妥当性・成立性
- 目標の達成に向けたプロセス及び作業が的確にブレイクダウンされていること - 目標の達成に適切なスケジュールが設定されていること - JAXA の技術知見・ノウハウや研究設備等を活用する相乗効果が示されていること - 目標の達成に必要な体制が設定されていること - 目標の達成に必要な資金計画が設定されていること
④ 技術的革新性
- 宇宙輸送システムの設計・製造・運用等を抜本的に変える取り組みであること - 技術の独創性・競争優位性がベンチマーク等に基づき客観的に示されていること - 共同研究成果の将来への発展性が示されていること - 共同研究成果が他の研究に活用される可能性があること - 技術による競争優位の持続性（コモディティ化するのに時間がかかる）が期待できること
⑤ 宇宙分野/非宇宙分野での事業性
- 事業モデルが以下の観点で適切に設定されていること * 想定される市場規模、ユーザ、製品・サービス * 製品・サービスのコスト - 事業化に向けた計画が具体的に検討されていること - 事業化する場合の事業体制が具体的に検討されていること （最終的に研究を完了した後生産・製造を行える手段・方策を有していることが望ましい）

応募方法・スケジュール(3/3)

- 募集期間 : 2025年8月12日(火)～2025年9月30日(火)正午
- 選考 : 2025年10月上旬～2025年10月下旬
- 結果通知 : 2025年10月下旬～2025年11月上旬
- 共同研究計画作成 : 結果通知から1週間～1ヶ月程度(JAXA研究担当との調整)
- 契約調整 : 共同研究計画提出から2週間～1ヶ月程度(JAXA契約担当との調整)
- 共同研究開始 : 共同研究契約締結後、順次(早ければ11月末より)
※研究費は、原則一括前払いとなります。

(留意事項)

- ① 共同研究契約書雛型は、**応募前に所属組織(法務担当を含む)での確認を済ませ**、結果通知後の問合せに時間がかからないように、ご協力ください。
- ② 上記スケジュールは変更となる場合があります。その際は、ホームページにてご案内致します。

次回RFPに向け、ご提供いただける情報がありましたら、引き続き、第4回RFIのホームページよりお寄せください。随時、受け付けております。

<https://www.kenkai.jaxa.jp/research/kakushinyusou/request04/rfi.html>

質疑・応答

ご質問があれば挙手をお願いします。

質問・相談会

- ◆ 4つのブレイクアウトルームをご用意しています。いずれのルームにもご自由に、途中からでも参加いただけます。
- ◆ オープンな場での質問・相談となります。クローズドの質問・相談は、HPの「お問い合わせフォーム」をご利用ください。
- ◆ できるだけ多くの方に多くの方に議論に参加してもらうために、長時間に及ぶ質問はご遠慮ください。
- ◆ ブレイクアウトルーム後の説明はありません。質問等が完了された方は、ご都合に合わせてご退席ください。

- メインルーム: 応募方法等の全般的な質問
- Room1 No.1 軽量低コスト断熱材、No.2 耐雷CFRP
- Room2 No.3 メタン爆発数値解析技術、No.4 エアブリージングエンジン構成要素
- Room3 No.5 再突入後帰還技術、No.6 打上アボート後運用シナリオ
- Room4 契約、法務

質問・相談会

■画面上部の会議コントロールで[ルーム]を選択します



■ブレイクアウトルームのリストが表示されますので、参加したいブレイクアウトルームを選択します。



■「ルームに参加しますか？」とメッセージが表示されたら、【はい】をクリックして ブレイクアウトルームへ参加します。

■退室する際は【ルームから退出】をクリックします。他のブレイクアウトルームへ移動する場合も【ルームから退出】をクリックして移動したいブレイクアウトルームを選択し参加します。

